

れきし

てらす通信

《発行》

新座市立歴史民俗資料館

野火止二丁目9番37号

TEL:048-481-0177

FAX:048-481-0149

MAIL:rekimin@city.niiza.lg.jp



第5号（令和6年7月）

雨よ何処（いずこ）へ！？



今年の梅雨入りは6月21日、例年より2週間遅かったとのことですが、ほぼ毎日続く晴天と6月とは思えないほどの酷暑！今年は梅雨寒とは縁遠い、雨が少なく暑さ続きの空梅雨になりそうです。このまま夏を迎えると、農作物への影響や深刻な水不足が心配です。杞憂に終われば良いのですが・・・。

閑話休題。梅雨が明ければ、暑い夏がやってきます。7月下旬には、大和田氷川神社にて夏祭りが開催され、新座市指定無形文化財の「大和田囃子」、そして漢たちの熱気あふれる「はだか神輿」が奉納されます！

待ちに待った夏休み、海へ、山へと市外へお出かけの方も多いと思いますが、地元のお祭りを見るのもまた一興・・・。是非足をお運びください！！

～甲冑着用体験を開催しました！～

去る5月12日（日）、こどもの日から一週間遅れで、体験型のイベント「甲冑着用体験」を開催しました。

武蔵村山市を中心に、時代まつりや手作り甲冑、バンド演奏等々甲冑や時代装束を身にまとい、地元のPRに大活躍の「村山党の会」の方々の手による手作り甲冑は軽量素材を用いてはいますが工法は昔と全く変わらない本格派！

親子そろって武将&お姫様体験ができるということもあって、当日は開館直後から多くの親子連れでにぎわいました。

「村山党の会」の皆さんが手際よく着付けをしてくださったおかげで待ち時間もほとんどなく、皆さんそれぞれに「古」の世に思いを馳せ、楽しく有意義な一日を過ごされた様子でした。



期間限定展示・イベント等のご案内

【企画展示】

★「新座の鉄道」展

好評開催中！→7月30日（火）まで

★「新座の考古学」～発掘調査ってなんだ？～

・期間：8月1日（木）～9月26日（木）

・展示解説・触れる展示：

【イベント】

★「年中行事を学ぼう」7月～9月

8月1日（木）～10日（土）

23日（金）～25日（日）

7月から9月までの3か月間、各月の
年中行事にちなんだ展示をします。

午前10時～正午又は午後1時～3時

7月：七夕、8月：お盆、9月：十五夜

「れきしてらすオリジナルノート」を使って

季節ごとの行事の由来や伝統を学んでみませんか？

※七夕の展示は7月28日（日）まで



～れきしてらすコラム～ 【学芸員のつぶやき】

第5回「普光明寺と大和田氷川神社夏祭り」

今年も新座に夏を告げる風物詩「大和田氷川神社夏祭り」が盛大に開催されます。

このお祭りは江戸時代に始まり、氷川神社の別当であった普光明寺27世・覚圓、28世・覚印の二世にわたって、老朽化した氷川神社を再建した際、祭礼がおろそかになってしまっているのを憂いて、私財を投じて山車を作りました。当初は旧暦6月14・15日に祭礼を行うこと、氷川神社を出発して普光明寺でお囃子を披露後、鎌倉道に出ることが取り決められました。しかし、鎌倉道は曲がり角が多いことから盛り上がりを見せず、数年後、覚印は再び私財を投じて神輿を寄贈し、現在の形となったそうです（『大和田史談』）。

明治時代に入ると「神仏分離令」により、お囃子も氷川神社で披露されることになりました。神輿は現在に至るまで、氷川神社の脇から出て普光明寺の横を通り、川越街道に出るといったコースを踏襲しています。お囃子に先導された神輿は、柳瀬川から神明神社（大和田小学校前）付近まで、かつての大和田宿を練り歩き、五穀豊穰や無病息災を荒々しく祈ります。

☆大和田氷川神社夏祭り 7月26日（金）・27日（土）両日とも午後6時～10時30分

☆はだか神輿 7月26日（金） 午後7時～10時30分※境内のみ

27日（土） 午後7時～10時30分※練り歩きは午後7時～9時頃

☆大和田氷川神社へのアクセス例

所在地：新座市大和田四丁目15-13 JR武蔵野線新座駅下車、徒歩22分

★ご注意★ 駐車場はございません。お車での来場はご遠慮ください。

次回の「れきしてらす通信」は10月発行の予定です

最新情報は「広報にいざ」または新座市のホームページをご覧ください！